

清水小・中学校一貫教育経営

☆清水町小中一貫教育が目指す姿

「心かよわせ、互いに響き合う 豊かな感性をはぐくむ一貫教育」

自ら学ぶ子ども

感性豊かな子ども

元気でたくましい子ども

情報リテラシーを身に付けた子ども

1 テーマ

「まなぶ・つなげる・はぐくむ」

「しみず教育の四季」の理念に基づき、清水地域と教職員・子ども達が共に学び、義務教育9年間の系統的・継続的な教育を確立し、発達段階に応じた育成を目指す。そして子ども達一人一人に「笑顔が輝き、たくましく主体的な力」を育む教育活動を展開する。

2 重点目標

(1)まなぶ

- ①9年間を見通した教育課程の編成を目指す。
- ②十勝清水学を系統化させる。
- ③合同研修や授業参観等の交流により教職員の資質能力を高める。
- ④ICTに対応できる知識や技術の育成を目指す。

(2)つなげる

- ①元気で爽やかな挨拶ができる子どもの育成を目指す。
- ②発達段階に応じた学習常規や生活習慣を定着させ学びの連続性を確立する。
- ③清水小・中学校それぞれの文化を融合し、共通認識を確立する。
- ④「第九」を通じて故郷のほこりを構築する。

(3)はぐくむ

- ①系統的な集団づくりを確立し、安心して通える学校づくりを目指す。
- ②読書習慣を身に付け本に親しむことができる子どもを育成する。
- ③生活しやすい環境づくり等、自ら行動できる子どもの育成を目指す。
- ④心身ともに健康で楽しい生活を造り上げる力の育成を目指す。

3 各部活動内容

(1)学習部

- ① 目標：つながる教育課程を確立し、わかる・できる・楽しめるまなびの創造
- ② 具体策
 - ア 十勝清水学、教育課程の9年間の系統性の確立
 - イ 小中相互の乗り入れ授業等による授業交流の活性化
 - ウ 学習条規（仮：清水小中一貫教育「学びのスタンダード」）を活用し、指導を繋げていく。
 - エ 「第九」の合唱を通しての交流を図るとともに、清水の伝統を大切にする心を育み、継承していく。

(2)生活部

- ① 目標：個々の子どもにあった生活習慣や規範意識の定着
- ② 具体策
 - ア 望ましい継続的な学級・学年団づくり
 - イ 個別最適化した手立ての研究を推進する
 - ウ 情報リテラシーや生と性の学習などの系統性の確立
 - エ 児童生徒情報交流の実施

(3)研修部

- ① 目標：小・中の教職員の共通認識の確立と授業力向上
- ② 具体策
 - ア 令和7年度から小中で一つの研修テーマを立てて、小・中各校で研修を進められるよう、研修テーマの検討を行う。
 - イ 小中合同授業研究及び研修会の実施
 - ウ イの円滑な実施に向けて、小・中各校の校内授業研究への参加